

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1 年次生 稲守 真由

1、はじめに

この度、本学の国際交流基金を受け、2024 年 3 月 11 日から 2024 年 3 月 20 日までの期間、オーストラリアニューサウスウェールズ州にある Technical and Further Education (TAFE) Kingscliff 校にて、薬学および語学研修を行いましたので、報告いたします。

私は、自身の英語力を向上すること、オーストラリアの薬学事情について知ること、オーストラリアの文化を経験し視野を広げることを目的に参加しました。



2、TAFE について

TAFE とは、オーストラリアに 100 校以上ある高等職業訓練専門学校です。

生徒の 90%以上はオーストラリアの方ですが、留学生も多いため英語のコースも開かれています。私たちは午前中に English Class、午後に Pharmacy Class を受講しました。

【EnglishClass】

午前の English Class では、英語の基礎的な知識に加え、オーストラリアの文化や歴史、動物について学びました。初日の授業では、ホストファミリーとの会話にも役立ちそうな日常英語を教わりました。また、オーストラリアの人たちは省略や短縮をして話す風習があるのでそのことについても学びました。そのおかげで、ホストファミリーとの会話も戸惑わずにすこ

とができました。動物についての授業は、ある動物を説明した文章と絵をマッチさせるクイズ形式で行われ、楽しく学ぶことができました。

【PharmacyClass】

午後の Pharmacy Class では、オーストラリアでよく使われる薬や、現地の薬剤師の役割について学んだり、Griffith 大学という場所へ行き、薬剤師体験もすることができました。薬学英語は、日常会話で出てくる英語より難しかったですが、黒板やスライドを使って授業を進めてくれたため、理解することができました。



3、終わりに

今回、オーストラリア研修に参加させていただきありがとうございました。初めてのオーストラリアで、現地の食が口に合うか、ホストファミリーとしっかりコミュニケーションがとれるかなど不安なことがたくさんありましたが、実際に行ってみると、ホストファミリーはとても気さくな方で、何から何まで親切にしていただけました。

英語力の向上は、期間が短かったこともあり飛躍的に伸びることはありませんでしたが、これからの課題点を見つけたことは良かったと思います。また、オーストラリアの薬学事情や文化について知り、視野を広げることは十分にできたと思っています。日本には知らないことをたくさん知ることができて良かったです。

今回のこの経験をいかして今後の大学生活につなげ、より多くの薬学の知識を身につけていきたいと思いました。